

デジタル防災無線の概要

■システム構成

屋外放送塔

屋外へ避難情報などを放送するものです。市内49カ所に設置。

戸別受信機

設置した家庭で、放送内容を聞くことができます。市内約1、400台設置。

・各自治会（2台程度）
・消防団員
・民生委員
・市議会議員
・市幹部職員
・公共施設 など

■放送内容

災害に対する危険が高まった場合、災害が発生した場合などを中心に、次の内容を放送します。

避難情報

災害発生時などに、避難が必要になった場合の避難情報（避難準備情報・避難勧告・避難指示）

災害警戒情報

台風などが接近した場合の警戒情報など

火災情報

火災の発生（消防団員の召集連絡も兼ねる）

定時放送

毎日、午前7時と午後5時の2回のチャイム（試験放送も兼ねる）

お知らせ

その他、市からのお知らせなど

サイレン

緊急時には、サイレンを鳴らした後、音声でお知らせします。災害の内容によって、サイレン音が異なります。

サイレン音の識別は、下記のとおりです。

■放送内容の確認

放送内容を確認するため、電話応答装置を設置します。内容を聞きたい場合は、次の番号へ電話してください。

☎0869-22-0699
☎0869-22-0032

◆災害情報などを市全体に行きわたらせ、本市からは被害に遭う人を一人も出さないためにも、自治会単位での自主防災組織の結成をお願いします。

市職員給与などの状況

市職員の給与などは、市議会での給与条例や予算、決算などの審議を通じて公にしていますが、市民の皆さんにより一層のご理解をいただくため、現在の状況についてお知らせします。また、市のホームページにも詳細を掲載しています。

■問い合わせ先 市総務課 ☎0869-22-1111

1.人件費の状況（平成17年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (17年度末)	歳出額 A 千円	実質収支 千円	人件費 B 千円	人件費率 B/A %
36,960	14,988,030	346,187	3,176,875	21.2

(注)人件費には、市長・議員などの給料・報酬を含んでいます。

2.職員給与費の状況（平成18年度普通会計予算）

職員数 A 人	給 与 費				一人当たり給与 B/A 千円
	給 料 千円	職員手当 千円	期末・勤勉手当 千円	計 B 千円	
416	1,452,790	204,249	580,221	2,237,260	5,378

(注)1 職員手当には退職手当を含みません。
2 給与費は当初予算に計上された額です。

3.一般行政職の給与水準（ラスパレス指数の状況）

平成18年4月1日	
瀬戸内市	県内15市平均
91.5	97.7

(注)ラスパレス指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の地方公務員の給与水準を示す指数です。

4.職員の平均年齢、平均給料月額（平成18年4月1日現在）

区 分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	40.9 歳	307,443 円
技能労務職	47.8 歳	270,209 円

(注)「平均給料月額」とは、平成18年4月1日現在における各職種ごとの職員の基本給の平均です。

5.職員の初任給の状況（平成18年4月1日現在）

区 分	学 歴	瀬戸内市		国
		I種	II種	
一般行政職	大学卒	170,200 円	183,800 円	
	高校卒	138,400 円	138,400 円	
技能労務職	高校卒	135,600 円	- 円	

6.職員の経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成18年4月1日現在）

区 分	学 歴	経験年数		
		10～15年	15～20年	20～25年
一般行政職	大学卒	262,045 円	305,673 円	360,031 円
	高校卒	242,342 円	262,740 円	324,780 円
技能労務職	高校卒	214,366 円	- 円	241,860 円

7.一般行政職の級別職員数の状況（平成18年4月1日現在）

区 分	級 別							計
	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	
標準的な職務内容	部長・参事	課長・参事	課長補佐	係長・主幹	主査	主任	主事	
職員数(人)	11	37	25	35	30	31	51	220
構成比(%)	5.0	16.8	11.4	15.9	13.6	14.1	23.2	100.0

8.職員手当の状況（水道・病院事業職員を除く全職員を対象としています）

(1) 期末手当・勤勉手当

区 分	6月期	12月期	計
期末手当	1.4	1.6	3.0
勤勉手当	0.725	0.725	1.45

(2) 退職手当（平成18年4月1日現在）

区 分	勤続20年	勤続25年	勤続35年	最高限度額
自己都合	21.0 月分	33.75 月分	47.5 月分	59.28 月分
勤奨・定年	27.3 月分	42.12 月分	59.28 月分	59.28 月分
平成17年度一人当たり平均支給額	自己都合3,630千円	勤奨・定年21,802千円		

(注)退職手当の一人当たり平均支給額は、17年度に退職した職員に支給された平均額です。

(3) 特殊勤務手当（平成18年4月1日現在）

支給実績（平成17年度決算）	金額			
支給職員一人当たり平均支給年額（平成17年度決算）	55,328円			
職員全体に占める手当支給職員の割合（平成17年度決算）	14.3%			
手当の種類（手当数）	7			
手当の名称	主な対象職員	手当の内容	支給方法	金額
市立病院に勤務する職員に関する手当	レントゲン技師・検査技師	レントゲン撮影・検査作業	月額	5,000円
	看護師・准看護師	深夜勤務	時間により1回	2,100～4,000円
防疫作業手当	作業従事職員	感染症防疫作業に従事する職員	日額	1,000円
犬猫死体処理手当	作業従事職員	犬猫などの死体処理作業	1体	1,000円
行旅病人死体取扱手当	作業従事職員	行旅死亡者の死体処理に従事する職員	1体	3,000円
環境衛生手当	作業従事職員	クリーンセンターかもめ・長船衛生センター・長船クリーンセンターに従事する職員	月額	19,000円
火葬業務手当	作業従事職員	火葬作業（平日）	1体	18,000円
	作業従事職員	火葬作業（土・日、祝日）	1体	25,000円
消防業務手当	作業従事職員	消防業務に従事する職員	月額	3,000円
	休日等出勤（深夜・深夜以外）		1回	500円
			1回	300円

(4) 時間外勤務手当

支給実績（17年度決算）	88,973 千円
職員一人当たり平均支給年額（17年度決算）	265 千円

(5) その他の手当（平成18年4月1日現在）

手当名	内容及び支給単価	支給実績 (17年度決算)	支給職員一人当たり 平均支給年額 (17年度決算)
扶養手当	配偶者、子どもなどの区分により被扶養親族一人につき5,000～13,000円	45,429千円	249,613円
住居手当	持家・借家の区分により2,500～27,000円	18,071千円	220,389円
通勤手当	・交通機関利用者 運賃の額に応じて最高55,000円まで支給 ・自動車などの使用者 距離に応じて1,400～20,900円	26,712千円	64,680円
管理職手当	職に応じて給料の8～12%	51,418千円	467,437円
宿日直手当	勤務場に応じて4,200～5,900円	11,173千円	21,487円

9.特別職の報酬等の状況（平成18年4月1日現在）

区 分	給料等月額	期末手当
市 長	748,000 円 (880,000円)	平成18年度支給割合 3.3月分 (6月期1.6月分 12月期1.7月分) ・加算措置 44%
助 役	648,000 円 (720,000円)	
教 育 長	595,200 円 (640,000円)	
議 長	450,000 円	平成18年度支給割合 3.3月分 (6月期1.6月分 12月期1.7月分) ・加算措置 15%
副 議 長	380,000 円	
議 員	350,000 円	

(注)現在、市長(15%)助役(10%)教育長(7%)の減額措置をしています。()内は減額前の金額です。

10.部門別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日現在）

部 門	区 分	職 員 数		対前年 増減数	主な増減理由		
		平成17年	平成18年				
普通会計部門	一般行政部門	議 会	5	5	0		
		議 長	5	5	0		
		議 員	83	78	-5	機構改革による減	
		総 務	16	18	2	派遣職員、収納の充実などによる増	
		税 務	22	21	-1	耕地課減	
		農林水産	7	8	1	業務量の増加による増	
		商 工	14	13	-1	建設課減	
		土 木	97	101	4	保育所の勤務条件改善による増	
		民 生	31	28	-3	支所ほか減	
		衛 生	計	275	272	-3	
会計等企業部門	教育	教 育	77	76	-1	機構改革による減	
		消 防	68	69	1	欠員補充増	
		小 計	420	417	-3		
		病院	病 院	88	87	-1	調整による減
			水 道	30	30	0	
			下 水 道	7	7	0	
小 計	16	23	7	機構改革による増			
小 計	561	564	3				



▲防炎監視カメラ



▲戸別受信機



▶携帯型無線機



▲自動電話応答装置

■問い合わせ先
地域安全推進室
☎0869-22-3904
FAX 0869-22-3304

サイレンパターン

災害種別	サイレンパターン	繰り返し回数
火 災	吹鳴時間 3秒 停止時間 2秒	5
避難準備情報 (避難の準備を してください)	吹鳴時間 5秒 停止時間 6秒	5
避難勧告 (避難してください)	吹鳴時間 10秒 停止時間 2秒	5
避難指示 (避難してください) 市長の強制命令	吹鳴時間 30秒 停止時間 6秒	5
避難解除	吹鳴時間 10秒 吹鳴時間 60秒 停止時間 3秒 停止時間 3秒	5
地震・津波警報	吹鳴時間 15秒 停止時間 6秒	5
高潮・洪水警報	吹鳴時間 45秒 停止時間 15秒	5